

## 2006年のヒマラヤ登山

尾形好雄（日本山岳協会国際部長）

### ヒマラヤ登山の動向

ヒマラヤのジャイアンツ（巨峰）の初登頂時代から半世紀が過ぎ、このところ毎年、8,000m峰登頂のゴールデン・ジュビリーを迎えている。2006年はマナスルとガッシャーブルムⅡ峰が初登頂50周年の節目となり、多くの登山隊を迎えた。特にガッシャーブルムⅡ峰にはパキスタン政府が登山料を半額にしたこともあってか、21隊が挑み18隊、126人が登頂した。因みに2006年のパキスタンへの登山隊は88隊でそのうち62.5%にあたる55隊が8,000m峰への登山隊で、その半数近い登山隊がガッシャーブルムⅡ峰に向かったのである。他の8,000m峰登山隊は、ブロード・ピーク14隊、K2とガッシャーブルムⅠ峰が各7隊、ナンガ・パルバット6隊となっている。この傾向が続けば2007年は初登頂50周年を迎えるブロード・ピークに登山隊が殺到するのであろうか。

一方、マナスルは日本人の8,000m峰と云う事もあって、春と秋に計5隊の日本隊が挑み、16名（シェルパ5名を含む）が登頂。12月にはカトマンズでマナスル初登頂50周年の記念祝賀会が行われ、1956年第2次アタック隊で登頂した日下田實さんから多くの日本人が参加した。

周年登山と言えば2006年は、ナンダ・デビィ初登頂70周年に当たったが、こちらは未だに続くナンダ・デビィ内院のクローズ問題もあって上記のような狂騒はなかった。

2極分化の傾向が益々顕著になるヒマラヤ登山であるが、2006年もこの傾向ははっきりと表れて

おり、相変わらずチョモランマ、チョー・オユーなどの8,000m峰ノーマル・ルートにはガイド登山隊が大勢押しかけた。一方、ネパール・ヒマラヤの東端に聳えるジャナク（7,041m）の南西ピラーがアンドレ・シュトレムフェリとロク・ザロカールがアルパイン・スタイルで初登攀。スロベニアのスーパー・クライマー、マルコ・プレゼリたちはチョモラーリ（7,326m）で北壁と北西稜の2ルートをアルパイン・スタイルで初登攀。カザフスタンのD・ウルブコとS・サモイロフはマナスル北東壁直登新ルートを初登攀、英国のI・パーネルとT・エメットによるケダルナート・ドーム南東ピラー初登攀など6,000～7,000m峰でのテクニカルなアルパイン・クライムも展開された。

### 日本人の記録

2006年の日本のヒマラヤ登山隊は別表の通りである。日本隊の動向をみても前述した2極分化の傾向がはっきり表れている。相変わらず世界最高峰の人気は高く、チョモランマには4隊が挑み、チョー・オユーには7隊、それに初登頂50周年を迎えたマナスルに5隊、シシヤパンマ4隊、K2、カンチェンジュンガ、ローツェ、アンナプルナⅠ峰、ナンガ・パルバットに各1隊と8,000m峰に25隊が挑んだ。これは日本隊の約半数が8,000m峰に出かけたことになる。

日本人の主な登山は、冬季ローツェ南壁に3度目の挑戦をしたJAC東海支部隊がついに執念が実り、冬季南壁を完登した。秋にシシヤパンマ主峰に登頂して高度馴化を図り、12月から冬季南壁登

## 4. 海外登山記録

## 2006年日本人ヒマラヤ登山隊

山名	標高	国別	登山隊/派遣母体名	ルート	季	隊長名	人数	結果	備考
チョモランマ	8,848	中	アドベンチャー・ガイド	北稜	春	近藤 謙司	5	○	5/17に隊長、荒山孝郎、小川誠、山田公史郎が登頂。
チョモランマ	8,848	中	栃木隊	北稜	春	北村 誠一	6	○	5/17に隊長、上小牧憲寛、遠藤博隆、谷嶋真一登頂
チョモランマ	8,848	中		北稜	春	山下 建夫	1	○	5/15に登頂
チョモランマ	8,848	中	公募隊	北稜	春		1	×	船橋栄子が参加
K2	8,611	パ	東海大学	南南東	夏	出利葉義次	11	○	8/1に小松由佳、青木達哉が登頂
カンチェンジュンガ	8,586	ネ	アミカル	南西面	春	R・ドモエヴィッチ	1	○	5/14に竹内洋岳が登頂
ローツェ	8,511	ネ	JAC東海支部	南壁	冬	田辺 治	6	×	12/27に冬季南壁を完登。登頂は断念。
チョー・オユー	8,201	中	加藤・天野隊	北西稜	春	加藤 慶信	2	○	5/3に加藤、天野が登頂
チョー・オユー	8,201	中	アースデスク	北西稜	秋	倉岡 裕之	7	○	10/2に倉岡、田村、岩井、川嶋、小林、柳沢が登頂
チョー・オユー	8,201	中	松本登高会OB	北西稜	秋	福沢 勝幸	2	×	9/27に6,400m到達
チョー・オユー	8,201	中	岩手・千葉家族	北西稜	秋	千葉 富夫	3	×	
チョー・オユー	8,201	中	Himex	北西稜	秋	鈴木八千代	1	×	9/28に7,000mに到達
チョー・オユー	8,201	中	長野県勤労者山岳連盟	北西稜	秋	池田 壮彦	7	○	10/2・6に各3名づつ登頂
チョー・オユー	8,201	中	福岡	北西稜	秋		3	○	10/3に3名登頂との情報
マナスル	8,163	ネ	野口健	北東面	春	野口 健	5	○	5/16に谷ロケイがシェルパ2名とともに登頂
マナスル	8,163	ネ	国際隊	北東面	春		3	○	5/17、島田智恵子登頂
マナスル	8,163	ネ	ガイド公募	北東面	秋	山本 篤	9	○	9/30に山本、角谷、加藤、白井、中島、藤森が登頂
マナスル	8,163	ネ	日本山岳会	北東面	秋	大蔵 喜福	6	○	10/1に大蔵、小川、山梨が登頂
マナスル	8,163	ネ	チーム右京	北東面	秋	片山 右京	3	○	11/5に片山がシェルパ3名とともに登頂
ナンガ・パルバット	8,126	パ	埼玉県山岳連盟	西面	夏	福田 靖	6	×	7/29に小沢直宏がC3からC2に下降中、滑落行方不明。
アンナプルナI峰	8,091	ネ	安曇野隊	南壁	秋	山田 慶周	5	×	10/22にC2(6,100m)付近で雪崩によりHP1名が遭難
シジャパンマ主峰	8,027	中	加藤・天野隊	北壁	春	加藤 慶信	2	○	5/18に加藤、天野がアルパインスタイルで登頂
シジャパンマ主峰	8,027	中	JAC東海支部	北東稜	秋	田辺 治	6	○	10/9に隊長、千田、山本、剣持、藤川、山口の全員登頂
シジャパンマ中央峰	8,008	中	三浦隊	北東稜	春	三浦雄一郎	3	○	5/16に三浦豪太、村口徳行が登頂
シジャパンマ中央峰	8,008	中	アドベンチャー・ガイド	北東稜	秋	近藤 謙司	5	×	10/3に7,700mまで到達
シジャパンマ中央峰	8,008	中	Himex	北東稜	秋	島田智恵子	1	×	
キンヤン・キッシュ	7,892	パ	同人パハール	南稜	夏	飛田 和夫	6	×	6/30にスノードーム(5,900m)までで断念。
ラカガシ	7,788	パ	江北山の会	南面	夏	細田 一郎	1	×	8/10に5,200mまで到達
ムスターグ・アタ	7,546	中	松田隊	西稜	夏	松田 謙介	4	○	4名登頂
ナンパイ・ゴスム南峰	7,240	ネ	日本ネパール合同隊	南稜	秋	近藤 和美	7	◎	10/26に日本側2名、ネパール側5名が初登頂。
ブモリ	7,161	ネ	カラנקルン	南東稜	秋	林 孝治	3	×	10/14に6,200mまで到達
レーニン	7,134	タ	カラנקルン		夏	林 孝治	3	○	8/14に隊長と鈴木裕之が登頂
レーニン	7,134	タ	アースデスク		夏	倉岡 裕之	3	○	8/10に登頂との情報
向東峰	7,018	中			秋	大神田伊曾美	1	○	9/21にシェルパとともに登頂
紅旗峰	7,011	中	長野紅旗峰隊	北面	秋	中島 俊弥	5	○	11/1に隊長と百瀬尚幸が北面新ルートから初登攀
パンバリ・ヒマール	6,887	ネ	JAC学生部		秋	加藤 好美	6	◎	9/27に登攀隊員5名全員が初登頂
アマ・ダブラム	6,812	イ	アースデスク		秋	長岡 健一	6	?	
カンテガ	6,779	ネ			秋	横山 勝丘	2	×	
無名峰(崑崙)	6,681	中	松田隊		夏	松田 謙介	4	×	6,410m峰に登頂との情報
メル・シャークスフィン	6,500	ネ	鱗鱗同人隊		秋	馬目 弘仁	4	○	9/26にロシアン・ルートから登頂
カトゥン・カン	6,484	ネ	北海道道央地区勤労者山岳連盟隊	北稜	冬	佐藤 信二	8	×	1/3に6,100mまで到達
6,407峰(グルカワジャ山群)	6,407	パ	福岡山の会		夏	稲永 篤	2	×	8/1に4,965mまで到達
トランゴ・ネームレストワー	6,239	パ	パーバリアン・クラブ		夏	山川 剛司	3	○	7/27に山川、新井、長門がスロベニア・ルートから登頂
ゴザル	6,292	中	岡山県勤労者山岳連盟		夏	守屋 益男	6	×	6/27に5,800m付近で断念
ニレカピーク	6,159	ネ	福岡県勤労者山岳連盟		春	田神 和弘	8	○	5/4に隊長ら3名が登頂

山名	標高	国別	登山隊/派遣母体名	ルート	季	隊長名	人数	結果	備考
ニレカピーク	6,159	ネ	MCM			河野千鶴子	3	×	
ストック・カンリ	6,150	イ	アトラス・トレック				2		
ユイチュ	6,120	中	鳥取県高体連	南面	夏		3		
ピサン・ピーク	6,091	ネ	長野勤労者山岳連盟			池田 壮彦	8		
タンスン・ジャイティ	6,084	ネ	サガルマータ・クラブ			石原裕一郎	15	×	
ペリ・ラブチャ	6,017	ネ		北壁	秋	山野井泰史	2	×	
パルドール	5,928	ネ	雪童山の会		春	鈴木 清高	1	×	パルドール西峰に登頂
阿比山	5,594	中	山梨, 白鳳会		秋	植松 一好	4	×	9/26に5,200mで断念
雪隆包山	5,527	中	山梨, 縦の木山岳会/からまつ山岳会		夏	三枝 昌彦	5	×	8/18にC1上部(4,800m)で断念
ロングザリ峰	5,420	中				大内 尚樹			
老山I峰	5,350	中	新潟		夏	桜井 正一	11	○	6/1に6名が登頂
二姑娘	5,276	中	山梨, 縦の木山岳会/からまつ山岳会		夏	三枝 昌彦	5	○	8/29に4名が登頂
奥太娜山	5,210	中	山梨, 縦の木山岳会/からまつ山岳会		夏	三枝 昌彦	5	○	8/25に4名が登頂

(国別=ネ:ネパール, パ:パキスタン, イ:インド, 中:中国, タ:タジキスタン)

攀にかかり、12月27日に南壁を抜けきった。推定高度は8,475m。然し、そこから先の頂上稜線はヒマラヤ巒と雪庇が複雑に入りこんでおり、登頂は断念した。K2南南東リブに挑んだ東海大学隊では、小松由佳が日本人女性初登頂者となり、一緒に登頂した青木達哉(21)は最年少登頂者となった。

一方、鱗鱗同人隊の馬目弘仁らはメル中央峰北東壁(シャークスフィン)に4度目の挑戦をし、9月26日にロシアン・ルートからの登頂に成功した。また、山川剛司(バーバリアン・クラブ)、新井健二(CMC)、長門敬明(秀峰登高会)らはトランゴ・タワー山群のネームレス・タワー(6,251m)に挑みスロベニア・ルートを登攀するなどのテクニカル・アルパイン・クライミングも成された。また、四川省の四姑娘山群の岩峰群にも多くの日本人クライマーが出かけ、新ルートを開拓した。

初登頂は、日本・ネパール国交樹立50周年を記念して計画された日本勤労者山岳連盟とネパール山岳協会との日ネ合同登山隊でナンパイゴスム南峰(7,240m)に10月26日に南稜から初登頂。JAC学生部(加藤好美隊長他5名)は、チェオ・ヒマールの南東にそびえるパンパリ・ヒマール(6,892m)に挑み、9月27日に登攀隊員5名全員が初登頂に

成功した。また、長野県の紅旗峰登山隊は紅旗峰(ネパール名=フンチ, 7,011m)の北面新ルートから11月1日に初登攀した。同隊は3年前にも挑んだが、隊長が静脈血栓症で倒れたため登山を断念した経緯があり、雪辱を果たした。同峰は2001年にネパール側から大阪鋭鋒会によって初登頂されている。

#### 遭難

残念ながら06年もナンガ・パルバット西面ルートでC3からC2への下降中に副隊長が滑落行方不明となる遭難事故が起こり、68年から途切れる事無く続いている日本人のヒマラヤ遭難事故がまた更新され、39年間連続と言う不名誉な記録となった。

また、秋のネパール・ヒマラヤでは雪崩遭難が相次いだ。ガネッシュ・ヒマール山群のパルドール(5,896m)でフランス人4名が北壁C2(5,500m)付近で雪崩遭難。11月13日にはアマ・ダブラム(6,812m)南西稜上で上部のセラックが崩壊してC3にいたスウェーデン人2名、イギリス人1名、シェルパ3名が雪崩で行方不明となった。

日本隊のアンナプルナI峰とプロモ・リでも雪崩により高所ポーターが計5名遭難した。

(文中敬称略)